

## 論文後に多いお悩み

### 就活面

手応えが悪いが、就活した方がよい？

就活、まず何から始める？

### 学習面

もし学習を再開するとしたら、いつ、何から始める？

今回は論文3回目だったが、

早めに動き出すとしたら？

9月以降も講師に相談できるか？

2023.8.25(金)19時-実施 TAC平林 アーカイブ版

**TAC**

# 23目標 論文後セミナー

✓ 就活面  
✓ 学習面  
✓ サポート制度の活用

## 年内の大まかなスケジュール（就活・試験対策共通）

| 試験対策 |                                                                                                         | 就職活動                                                                                                                                  |                                                                                                                                                  |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 9月   | 12月短答を受験する<br>可能性がある場合、<br>ネット出願<br>8/25~9/15(木)迄<br>合格発表まで受験料納付済あり<br>(12月短答を受験しない場合、<br>論文出願は2024年2月) | 本試験の手応えにかかわらず、<br>9月上旬の全体向け法人説明会<br>には参加する。                                                                                           | 法人説明会<br>全体向け<br>法人説明会<br>テーマ別/事業部別<br>法人説明会<br>個別相談会<br>(適宜参加)                                                                                  |
| 10月  | 対策を再開する場合は、<br>主に会計学計算デコ入れや<br>租税法計算が中心。<br><br>早めに申し込む場合は、<br>Web論点別講義を活用して<br>理論科目のインプット強化。           |                                                                                                                                       | TAC就職サポート(関西は別途実施あり)<br>就活相談会【20分ごと目安】<br>●オンライン個別相談(ネット予約)<br>●メールでの相談・問い合わせ<br>counselor@tac-school.co.jp<br>●フリーコール(平日14-17時)<br>0120-527-699 |
| 11月  |                                                                                                         |                                                                                                                                       | 面接対策<br>【30分ごと目安】<br>オンライン実施<br>(ネット予約)                                                                                                          |
| 12月  | 12/10(日)までの<br>3週間で<br>会計学の計算力を戻す                                                                       | ※11/17(金) 合格発表<br>※11/19(日)日商簿記1級<br>※11/22(水)19時~奨学生試験<br>論文対策講義開始(新宿・梅田収録)<br>12/10(日) 短答式本試験<br>租税法 所得税講義等開始<br>※12/13(水)19時~奨学生試験 | 合格発表後、<br>すぐに採用選考開始<br>内定承諾期限<br>大手東京:12月上旬<br>大手関西:11月下旬など<br>入所~2月など<br>(あつた監査法人は12月入所など)                                                      |

## 就活面

手応えが悪いが、就活した方がよい？

就活、まず何から始める？

## 学習面

もし学習を再開するとしたら、いつ、何から始める？

今回が論文3回目だったが、

早めに動き出すとしたら？

9月以降も講師に相談できるか？

0. 手応えが悪いが、就活した方がよい？/合格発表までの大まかなスケジュール
1. 就活面
2. 学習面 再開するか？いつ？
3. 学習のポイント
4. サポート制度の活用
5. 巻末資料(12月短答を受験する場合/コース案内等)

## 0. 手応えが悪いが、就活した方がよい？大まかなスケジュール

1. 就活面
2. 学習面 再開するか？いつ？
3. 学習のポイント
4. サポート制度の活用
5. 巻末資料(12月短答を受験する場合/コース案内等)

# 手応えが悪いが、就活した方がよい？

本試験の手応えにかかわらず、9月前半は法人説明会に参加する。

理由

①合格している可能性がある。

9月の法人説明会に参加していないと、  
合格発表後、面接まで進めないことが多い(合同説明会だけでは△)。  
発表後は説明会実施がない法人も。

②来年受験する場合でも…

翌年のスタートダッシュに繋がる。

- ・就活を通じ、幅広い年次の尊敬できる会計士に出会える。
- ・監査実務のイメージがしやすくなる。

## 就活面のポイント

1. 法人マイページ登録・  
会計士受験生 キャリアスタート 公式LINE登録  
就職サポート登録など、  
情報を入手できる体制を整える。
2. 就職対策講義を視聴。
3. 法人の全体向け説明会を9月前半参加。

## 学習面のポイント 基本的には発表まで休んでOK。

1. 年内は主に会計学計算テコ入れや法人税計算が中心。まずは計算科目を強化。
2. 年内に租税法計算(まず法人税。次に所得税)をある程度得意にしたい。  
テキスト・トレーニング(3月末頃まで)。
3. 年明けから理論科目本格化 (早めからインプット強化をしてもOK)。  
3月末に掛けて理解強化。

# 年内の大まかなスケジュール（就活・試験対策共通）

|               | 試験対策                                                                                                                                                          | 就職活動                                                                                                                                                                                                                                             |
|---------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 9月            | <p>12月短答を受験する可能性がある場合、<b>ネット出願</b><br/>8/25～9/15〆切<br/>合格発表まで受験料納付猶予あり<br/>(12月短答を受験しない場合、<b>論文出願は2024年2月</b>)</p> <p>本試験の手応えにかかわらず、9月上旬の全体向け法人説明会には参加する。</p> | <p>法人説明会<br/><b>全体向け法人説明会</b></p> <p>テーマ別/事業部別法人説明会<br/>個別相談会 (適宜参加)</p> <p>TAC就職サポート (関西は別途実施あり)<br/><b>就活相談会【20分ごと目安】</b><br/>●オンライン個別相談 (ネット予約)<br/>●メールでの相談・問い合わせ<br/>counselor@tac-school.co.jp<br/>●フリーコール (平日14-17時)<br/>0120-527-699</p> |
| 10月           | <p>対策を再開する場合は、主に<b>会計学計算テコ入れ</b>や<b>租税法計算</b>が中心。</p>                                                                                                         | <p><b>面接対策【30分ごと目安】</b><br/>オンライン実施 (ネット予約)</p>                                                                                                                                                                                                  |
| 11月           | <p>早めに申し込む場合は、<b>Web論点別講義</b>を活用して理論科目のインプット強化。</p>                                                                                                           | <p><b>エントリーシート添削【30分ごと目安】</b><br/>(ネット予約)<br/>※合格発表日までに準備</p>                                                                                                                                                                                    |
| 11/17(金) 合格発表 |                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 12月           | <p>12/10(日)までの3週間で<b>会計学の計算力を戻す</b></p>                                                                                                                       | <p>合格発表後、<b>すぐに採用選考開始</b></p> <p>内定承諾期限<br/>大手東京：12月上旬<br/>大手関西：11月下旬など<br/>入所…2月など<br/>(あらた監査法人は12月入所など)</p>                                                                                                                                    |

※11/19(日)日商簿記1級  
※11/22(水)19時～奨学生試験  
論文対策講義開始 (新宿・梅田収録)

12/10(日) 短答式本試験  
租税法 所得税講義等開始  
※12/13(水)19時～奨学生試験

0. 手応えが悪いが、就活した方がよい？大まかなスケジュール

## 1. 就活面

2. 学習面 再開するか？いつ？

3. 学習のポイント

4. サポート制度の活用

5. 巻末資料(12月短答を受験する場合/コース案内等)

# 就活、まず何から始める？

## 1. 法人マイページ登録

会計士受験生 キャリアスタート 公式LINE登録

TAC就職サポート登録など、

情報入手できる体制を整える。

TAC「就職ガイド」入手（次ページ）。



## 2. 就職対策講義を視聴（TAC就職サポート登録が必要）。

## 3. 法人の全体向け説明会に9月前半参加。

# 1. 就活に関する情報を入手

就活関連 最新情報[https://www.tac-school.co.jp/kouza\\_kaikei/strength/employment\\_support.html](https://www.tac-school.co.jp/kouza_kaikei/strength/employment_support.html)

◆会計士受験生のための就職ガイド <https://digibook.tac-school.co.jp/kaikei-job-2023/book/>

◆会計士受験生のための就職ガイド[エリア版]

※札幌など地区での就業や、Iターン/Uターン向け旅行ガイド付き

◆TAC就職サポート公式LINE（論文式試験以降、法人イベント告知）

<https://lin.ee/IFZZIDa>

★今年東京4大法人は、10/7(土)-接触禁止期間。

情報収集できるのは9月しかないため、注意。

参考：東京四大事務所協定 <https://www.shinnihon.or.jp/recruit/pdf/2023kyotei1.pdf>

◆ 主な法人採用ページリンク集

[https://www.tac-school.co.jp/kouza\\_kaikei/strength/employment\\_support/kansahoujin\\_leaf\\_2023.html](https://www.tac-school.co.jp/kouza_kaikei/strength/employment_support/kansahoujin_leaf_2023.html)

TAC



会計士受験生  
キャリアスタート  
LINEID検索:「@tacs」



## 2. 就活スキルUP

### ◆就職対策講義【WEBSCHOOLにて配信済み】

9月以降は通常の23目標Web Schoolには入れなくなるため、就職サポート登録が必要。

資格の学校  
TAC

監査法人就職対策講義

- I. 概要(採用状況・選考内容・特徴etc.)
- II. オンライン対応について
- III. 就職活動とは？  
(採用側の視点、タイムスケジュール、すべき事etc.)
- IV. 情報を集める(企業・業務研究/自己分析)
- V. 情報を組み立てる・伝える①(応募書類について)
- VI. 情報を組み立てる・伝える②(面接について)
- VII. 情報を伝える(マナーについて)
- VIII. TACの就職サポートについて

Copyright © 2023- TAC Co.,Ltd.

◆TAC就職サポート 就活相談会（オンライン）【9月実施】

◆面接対策（オンライン＋対面）【10月実施】参加者向けにES添削実施予定。

### 3. 就職サポート 個別相談



TAC

就職サポート

フリーコール 平日14:00～17:00

オンライン相談 随時

[counselor@tac-school.co.jp](mailto:counselor@tac-school.co.jp) ご連絡で日程調整

★8・9・10月はオンラインで就職相談の予約枠を  
予め多く設定しているため、  
直接Web予約がスムーズ。

[https://www.tac-school.co.jp/kouza\\_kaikei/strength/employment\\_support/kansahoujin\\_jobhunting\\_consultation.html](https://www.tac-school.co.jp/kouza_kaikei/strength/employment_support/kansahoujin_jobhunting_consultation.html)



0. 手応えが悪いが、就活した方がよい？大まかなスケジュール

1. 就活面

**2. 学習面 再開するか？いつ？**

3. 学習のポイント

4. サポート制度の活用

5. 巻末資料(12月短答を受験する場合/コース案内等)

## 主な判断基準

### 1. 会計学計算や租税法計算について、テコ入れが必要か？

自己採点結果などでなく、答練・模試受験時の  
手応え・成績により検討でOK。

### 2. 合格発表後以降、十分な学習時間が確保できるか？

例：現在 一般事業会社勤務、残業が多いなど

### 3. 次年度、免除が切れる科目があるか？

インプット強化が発表以降3月末までに終わらない見込みであれば、  
前倒しでWeb論点別講義を活用。

# 学習を再開する場合 一般的には・・・

## 1. 年内は主に

会計学計算テコ入れや法人税計算が中心。まずは計算科目を強化。

12/10(日)短答式試験の日を中期目標とする。

## 2. 年内に租税法計算(まず法人税。次に所得税)を

ある程度得意にしたい。テキスト・トレーニング(3月末頃まで)。

租税法と財務理論は、一度得意にすると本試験で比較的下振れしにくい。

## 3. 年明けから理論科目本格化 (早めからインプット強化をしてもOK)。

論点・科目の苦手度合に応じて、徐々に学習を再開。

3月末に掛けて理解強化。Web論点別講義活用。

年明けから答練など演習本格化。3月末までは出題範囲がある。

早めに取り組む場合、Web論点別講義(配信済)を活用。

(財理・監査論・企業法・管理会計論・財務計算)

12月以降、論文対策講義(関西収録)

またはWeb論点別講義をインプット強化に適宜活用。

※合格返金制度+10月末までの申込みで合格お祝い金30,000円

直営22校 先着200名 ロッカー最大8ヶ月無料 (詳細・・・巻末資料)

答練以外にアウトプット強化を図りたい場合、関東の論文対策講義を活用。

(時期はオンタイムでなくてもOK)

(受験生のうち、ほとんどが合格発表まで休んでいるイメージ)

本試験の手応えにかかわらず、  
9月前半の全体向け法人説明会  
には参加する。

## ①12月短答を受験する可能性がある場合 詳細は巻末資料参考

・・・8月論文で免除科目があった場合、  
できればインプット強化などに取り組む。

## ②会計学計算△の場合

ex. 答練・アクセスや全国模試で  
大きく平均を下回っていた

・・・特に必要性を感じたら、  
10月など就活が落ち着いてから再開。  
会計学計算のインプット・アウトプット強化。  
特に財務計算。

## ③会計学計算OK、租税法計算△の場合

発表までに、24目標基礎マスター講義（法人税基礎）受講可能。  
経営計算も。

12月短答以降、24目標初年度生向け上級講義（所得/消費/応用）も  
受講可能。

租税法論文対策講義は、理論部分や改正論点のみを扱う。

特に必要性を感じたら、  
就活が落ち着いてから再開。  
まず法人税法計算基礎の  
インプット・アウトプット強化。テキスト・トレ。

## ④会計学計算・租税法計算OKの場合

(監査論免除の場合、働き出す準備として  
基本的な流れを少し復習しておくのがおすすめ)。  
会計学計算をさらに強くしたい場合、サクセスを検討しても  
OK。詳細・・・巻末資料

・・・基本的に合格発表まで休んでOK。  
合格お祝い金制度は活用(10/31✕)して  
理論科目の理解を強化してもOK。

# 合格発表まで休む場合 ★合格発表後、論文リスタートセミナー視聴。**TAC**

来年受験することとなった場合、

まずは12/10(日)までの3週間、

会計学計算に取り組む（特に、財務計算）。

論文重点出題項目について、

短答合格者と概ね肩を並べられる状態に戻す。

使用教材・・・テキスト＋論文アクセス難易度A部分か  
パワーアップ問題など、平易な総合問題。

0. 手応えが悪いが、就活した方がよい？大まかなスケジュール

1. 就活面

2. 学習面 再開するか？いつ？

**3. 学習のポイント**

4. サポート制度の活用

5. 巻末資料(12月短答を受験する場合/コース案内等)

## 1. 理解

複数論点を比較できるか？具体例は挙げられるか？  
…講義・演習・質問など

★通信生の場合、講義・答練を溜めてしまうことが多い。  
いかにコンスタントに進められるか。

## 2. 本試験当日に、知識を引き出す ★暗記・ピーク合わせ

「見たらわかる」「知っている」だけでは不十分。覚え切ることができるか？  
本試験当日、【よどみなく】引き出せるか？  
最後の2週間、ピークを合わせられるか？

…答練などの度に、準備して受験。

★理解していると、「丸暗記」の量が減る。

## 3. 本試験当日に、得点に繋げる（時間配分・読み飛ばし対策など）

…答練などを準備して受験し、  
自分のミスの傾向を掴んで工夫

理解

暗記

試験中の行動

## インプット面

暗記すべき箇所や、基準集を頼る箇所等が把握できている。

短答直後よりも体系的な理解が進んでいる。

租税法・選択科目のインプットがある程度進んでいるため、他の科目の理解強化・講義受講・演習にも時間が充てられる。

就職活動を通じて、監査実務について少しイメージしやすくなっている。

## アウトプット面

問題文の読み取り・答え方、試験中の時間配分等がある程度把握している。

教材の総量、どの時期にどれぐらい忙しくなるかを体感している。

⇒租税法と理論科目(理解&暗記&アウトプット力を強化すると)が比較的安定。

逆算しやすい。

# 論文リスタート生の弱み（一般論）



TAC

## インプット面

短答合格直後に比して、テキストの網羅的な知識・理解は保持しにくい。

特に理論科目について、テキストと大きく離れていると

基礎的な概念が抜けがち。

過年度の答練が手許にあるため、問題ベースの学習偏重となりやすい。

## アウトプット面

論証暗記が比較的得意になる一方で、

応用的な理論問題で空欄にしがち。

⇒テキストベースの学習を強く意識する必要がある。

3月末にかけて、Web論点別講義を積極的に活用。特に財理・監査・企業法。

年明け以降、答練を通じて、試験中の行動を練習。

1. 「重要」かつ「苦手」な分野に取り組んでいるか？
2. 今、どのような力を伸ばそうとしているか？
3. インプット・アウトプットどちらかに偏っていないか？

テキスト中心/具体と抽象

# インプット・アウトプットどちらかに大きく偏っていないか？

テキストベース (テキストを中心に置く) 学習とは？

⇒ Outputを通じて、(テキスト)の穴を探す(Input強化)。

具体的な問題をきっかけにして

抽象的・一般的な記述であるテキストをつぶす。



応用的な問題も含めて、初見の問題にも対応できるようになる。

1. トレーニングなど問題演習 ★学習が進んだら、目次学習も開始  
(道筋が立てられない時はテキストを参照しつつ当てはめる)



2. 問題の周辺論点を想起(他の場合分けや理屈など)



3. テキストに戻って周辺のあやふやな箇所を確認  
ついでにテキストへマーク



直前期の回転・暗記が効率的になる

## 関西岡本講師

### 「何を変えれば短答に合格できるか？」セミナー 冒頭40分

会計士としてどのような素養が求められており、  
受験勉強を通じて、どのように伸ばすか？

会計士の仕事は、会社の存続に関わるケースもある重大な仕事。  
そのような緊張感を持って、試験内容に照らして  
理にかなった学習ができていますか。

YouTube動画・資料

[https://youtu.be/Mkebd7\\_krFc](https://youtu.be/Mkebd7_krFc)



#### 4. 公認会計士として必要な素養の例(私見)

- |              |                 |
|--------------|-----------------|
| ①財務会計(計算)の知識 | ⑧スピード           |
| ②財務会計(理論)の知識 | ⑨マルチタスク力        |
| ③管理会計の知識     | ⑩逆境力            |
| ④監査の知識       | ⑪度胸             |
| ⑤法律の知識       | ⑫決断力            |
| ⑥まじめさ        | ⑬センス(後天的に身に付ける) |
| ⑦計画性         | ⑭国語力            |



# 必要な3つの力・目安となる状態・使う教材/サポートまとめ

| 必要な力                                           | 目安となる状態                                                                                                                                                                                                                                                                | 使う教材/サポート                                                                                                                                                 |
|------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| テキストを理解                                        | <input checked="" type="checkbox"/> テキストを読めば内容がわかる<br><input checked="" type="checkbox"/> 比較が出来る（共通点・相違点）<br><input checked="" type="checkbox"/> 具体例を挙げられる<br><input checked="" type="checkbox"/> テキストを見ながらであれば、正解できる<br>規定の趣旨を言えるか？<br><b>★基礎概念や理屈を理解すると暗記量が減らせる。</b> | 講義受講(何度も受講し直すのは避ける)<br>質問…質問コーナー/質問ルーム/24目標LINE<br>オープンチャット(2023年7月-)/質問メール<br>その他各種アウトプット教材⇔テキスト<br>理論科目 短答問題集…×の理由を考える。比較。<br><b>★演習を通じてインプットの穴を探す。</b> |
| 理解に加えて、<br>本試験当日に<br>テキストの内容<br>を想起できる<br>(暗記) | <input checked="" type="checkbox"/> 自力で初見の問題が正解できる<br><input checked="" type="checkbox"/> 問題を解いた後（もしくは目次を見て）、<br>テキストの周辺論点が 場合分け で思い出せる<br><b>★ピーク合わせ…全体2週間以内、細かい暗記は付箋を貼って試験直前の数日以内に暗記など</b>                                                                           | 各種アウトプット教材(問題集、答練、テキスト目次、財理章扉word)をきっかけとして<br>繰り返し想起し、テキストへ戻る。<br>質問コーナーで章を指定して理解度チェックを依頼(口述式の問題演習)。テキストチェックゼミ活用(2023年7月頃-財計 12月以降管理/監査)。                 |
| 理解・暗記に加えて<br>大きなやらかしをせず<br>得点に繋げ切る<br>(試験中の行動) | <input checked="" type="checkbox"/> やらかしミスの対策・工夫をしている<br><input checked="" type="checkbox"/> 時間配分で崩れない、粘り過ぎない<br><input checked="" type="checkbox"/> 正誤の判断能力 ※×を探す。○は積極的には判断しない。<br><b>【論文】問題文を読み、テキストのどこが問われているか掴める。素直に過不足なく答えられる。基準集が使える（監査論、租税法、財務理論、企業法）。</b>      | 問題集・アクセス・答練・全国模試後に分析して修正行動を検討。 <b>★解き慣れていない問題で試す。</b><br>やらかしミスを分析し、対策をメモ。常に工夫。<br>（論文理論科目の場合、zoom質問ルームや質問コーナーで答案のフィードバックを受けるなど）                          |

0. 手応えが悪いが、就活した方がよい？大まかなスケジュール

1. 就活面

2. 学習面 再開するか？いつ？

3. 学習のポイント

**4. サポート制度の活用**

5. 巻末資料(12月短答を受験する場合/コース案内等)

## 1. 情報提供

- 公式LINE
- 定期的なオンラインセミナー

← 学習に不安がない場合も  
短期・中期目標確認のため  
← 利用。



## 2. 1対複数の相談対応

- オンライン質問ルーム(挙手やチャットで質問可能・見学参加もOK)
- LINEオープンチャット(上級期から、学習法・財理・監査論につき開設)

## 3. 1対1の相談対応 通信生も、校舎の質問コーナー利用OK！

- オンライン/対面質問コーナー
- Web School 質問メール
- 個別成績・学習方法相談

(毎週土曜13時翌週分のみ予約受付。)

- 就職サポート(フリーダイヤル0120527699/

メールcounselor@tac-school.co.jpで随時対応)

1対1の相談時、より具体的な話ができるように…  
✓質問・相談前に、直近で実施したオンラインセミナーの資料を確認(できれば動画冒頭30分程も視聴)  
✓相談時、自己分析結果/現在の自分の課題や今後の方針、解いた際の下書き/答案等を持参

# 9月以降のサポート利用について

## 引き続き質問・相談サポートを利用できるか？

### 対面

独学生・他校生も含めて、下記利用可能。

校舎質問コーナー

個別相談会(例:9/6(土)渋谷、9/11(月)横浜、9/23(土)立川)



### オンライン

オンライン質問ルーム(1対複数)・質問コーナー(1対1)

…TAC生は「就職サポート」登録により、  
Web School「講座からのお知らせ」欄から  
12月末まで引き続き利用可能

個別相談…予約ページから利用可能

就職サポート 面接対策など…就職サポート登録により利用可能

LINEオープンチャット…23目標学習法オープンチャットは12月末まで対応、  
財理・監査論は8月末で終了。

## ■9/3(日)11-18時

11-13時 福田チューター(退職専念 短答リスタート)

12-14時 [財理/相談] 平林講師 主に論文生向け

13-15時 清水チューター(新宿校等)

15-17時 [財理/相談] 平林講師 主に短答生向け

17-18時 [企業法] 宮内講師

## ■9/9(土)9-18時

9-12時 [管理] 岡本講師

11-13時 福田チューター(退職専念、短答リスタート)

12-14時 [財理/相談] 平林講師 主に論文生向け

15-17時 [財理/相談] 平林講師 主に短答生向け

17-18時 [企業法] 宮内講師

## ■9/16(土)11-20時

11-13時 小田チューター(新宿校等)

12-14時 [財理/相談] 平林講師 主に論文生向け

15-17時 [財理/相談] 平林講師 主に短答生向け

17-18時 [企業法] 宮内講師

18-20時 [監査論] 岡田講師

18-20時 清水チューター(新宿校等)

## 【参加方法】

就職サポート web school トップページ  
オンライン質問コーナー/質問ルーム  
(パスワード付ページ)

## ■9/24(日)11-18時

11-13時 小田チューター(新宿校等)

11-13時 [財理/相談] 平林講師 主に論文生向け

13-15時 [就職サポート] 相澤講師(平林講師同席)

13-15時 堀井チューター(立川校)

15-17時 [財理/相談] 平林講師 主に短答生向け

17-18時 [企業法] 宮内講師

## ■9/30(土)11-20時

11-13時 小田チューター(新宿校等)

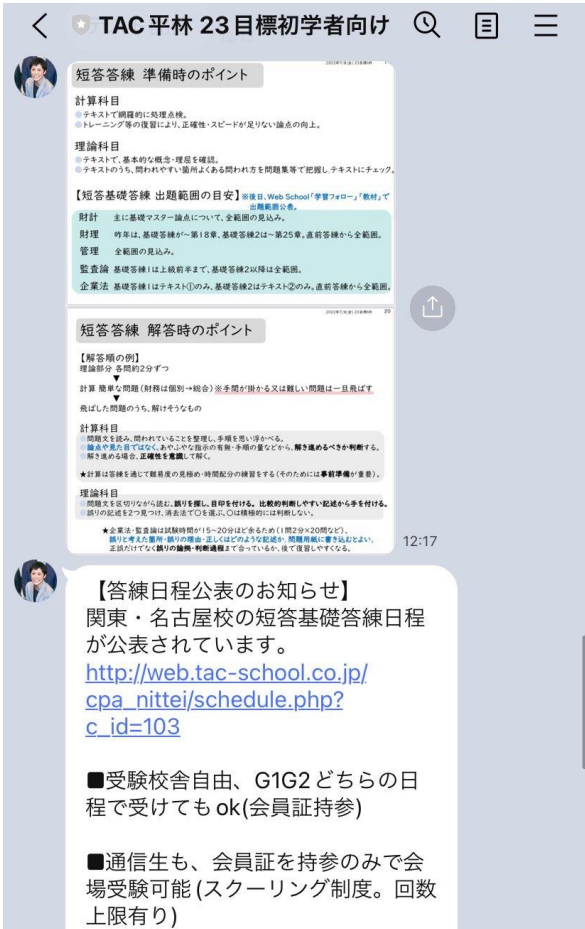
12-14時 [財理/相談] 平林講師 主に論文生向け

15-17時 [財理/相談] 平林講師 主に短答生向け

17-18時 [企業法] 宮内講師

18-20時 [財計] 徳竹講師

# LINE公式アカウントについて



目標年度・状況ごとに別アカウントで、  
以下の内容をお知らせ。

- 本試験関連情報
- セミナー・相談会等 実施情報
- 主な講義/答練日程の公表

(日程変更については、  
別途メール通知サービスをご利用ください。)

- よくいただくご質問
- 模試の平均点速報
- 直前期・当日の注意点等

23目標 公式LINE  
論文生向け  
LINEID検索:「@23tac\_ron」



<https://lin.ee/FtCYm3D>

会計士受験生  
キャリアスタート  
LINEID検索:「@tacS」



<https://lin.ee/lFZZIDa>

早めに学習を  
再開したい方向け

24目標 公式LINE  
論文関連情報  
LINEID検索:「@24tac\_ron」



<https://lin.ee/ATV58d1>

お知らせ内容のイメージ

▶ Twitter @hirabayashi\_tac

## 就活面のポイント

1. 法人マイページ登録・  
会計士受験生 キャリアスタート 公式LINE登録  
就職サポート登録など、  
情報を入手できる体制を整える。
2. 就職対策講義を視聴。
3. 法人の全体向け説明会を9月前半参加。

## 学習面のポイント 基本的には発表まで休んでOK。

1. 年内は主に会計学計算テコ入れや法人税計算が中心。まずは計算科目を強化。
2. 年内に租税法計算(まず法人税。次に所得税)をある程度得意にしたい。  
テキスト・トレーニング(3月末頃まで)。
3. 年明けから理論科目本格化（早めからインプット強化をしてもOK）。  
3月末に掛けて理解強化。

0. 手応えが悪いが、就活した方がよい？大まかなスケジュール

1. 就活面

2. 学習面 再開するか？いつ？

3. 学習のポイント

4. サポート制度の活用

5. 巻末資料(12月短答を受験する場合/コース案内/テキスト改訂等)

# 12月短答を受験する可能性がある場合

合格発表後、短答までの3週間で、短答科目知識暗記を詰める。

特に、原価計算基準と企業法は論文と短答で大きく変わるため注意。

財理・・・短答式確認問題等を1周以上。監査論・・・短答問題集とテキスト(制度論)。

免除科目があった場合や早めに再開したい場合、Web論点別講義を活用。

【もしもコースに申込みせず12月へ向けて早めに再開する場合】

23目標の短答問題集・テキストの復習。

8月末までに、受け取っていない短答教材（短答アクセス/答練/問題集/財務計算短答過去問集など）があれば受け取る。

おすすめコース

■Wチャンス本科生もしくは短答までは短答答練パック(短答基礎/直前答練)57,000円&短答全国模試 5,000円

12月短答後、論文専攻上級本科生(再受講割で259,000円など)

■5月短答・8月論文に照準を合わせる場合は、上級ストレート本科生（Wチャンスより2万円ほど安い）

通常受講料¥413,000円 → **早割キャンペーン受講料¥385,000円**

# 論文専攻上級本科生コース

[https://www.tac-school.co.jp/kouza\\_kaikei/kaikei\\_crs\\_advanced\\_ronsen.html](https://www.tac-school.co.jp/kouza_kaikei/kaikei_crs_advanced_ronsen.html)

**TAC**

コース案内HP

通常受講料 378,000円（超割期間343,000円）

↓  
短答免除だれでも割引 294,000円(通常から84,000円割引▲22.22%)

現在 超割期間(～12/4) **259,000円**(119,000円割引 ▲31.48%)

※直営22校 先着200名 ロッカー最長8ヶ月無料

※合格していた場合・・・全額返金

10/31までに申込みしていた場合・・・全額返金＋お祝い金30,000円



再受講割引／短答免除だれでも割引受講料

奨学生試験の割引率は、超割期間受講料343,000円などからの割引率。短答だれでも割引とは併用×。  
詳しくは問い合わせ窓口へ。

【超割キャンペーン】2023年8月21日（月）～12月4日（月）

| 学習メディア           | 再受講割引／短答免除だれでも割引受講料<br>キャンペーン受講料 |
|------------------|----------------------------------|
| 教室(ビデオブース)+Web講座 | ¥294,000<br><b>超割¥259,000</b>    |
| Web通信講座          | ¥294,000<br><b>超割¥259,000</b>    |
| DVD+Web通信講座      | ¥350,000<br><b>超割¥315,000</b>    |

上級パンフPDF請求



[https://www.tac-school.co.jp/kouza\\_kaikei/kaikei\\_advanced.html](https://www.tac-school.co.jp/kouza_kaikei/kaikei_advanced.html)

# リベンジ応援キャンペーン

TAC

[https://www.tac-school.co.jp/kouza\\_kaikei/campaign\\_A.html](https://www.tac-school.co.jp/kouza_kaikei/campaign_A.html)



## 申込特典

1

TAC直営22校でなんと先着200名様に！  
貸しロッカー最長8カ月無料

TACでの自習に便利な貸ロッカーを最大8カ月（8月～翌年3月まで）無料で貸出いたします。

※12/4（月）までに各校舎窓口でお手続きください。

## 貸ロッカーについて

開く +

2

学習計画の見直し&TACの使い方を1on1支援！  
合格者チューターによる伴走サポート

合格者チューターが再スタートの不安を解消！学習ペースの掴み方や、TACサポートの活用方法など立場の近いチューターと一緒に考えて伴走します。

※12/4（月）までに各校舎窓口でお手続きください。

早めに学習を  
再開したい方向け

24目標 公式LINE  
論文関連情報  
LINEID検索:「@24tac\_ron」



<https://lin.ee/ATV58d1>

# 12月以降スケジュール目安

※詳細は11月末 論文リスタートセミナーで説明

12月  
1月  
2月  
3月  
4月  
5月  
6月  
7月  
8月

## Input 強化

基礎的な概念を理解し、  
口頭で説明できる  
状態に。

Web論点別講義や  
論文対策講義を  
活用。  
租税法・選択科目は  
初年度生向け講義を  
受け直してもOK。

## Output 強化

問題文の読み取りと  
素直な答え方、  
部分点の取り方等を  
身に付ける。

正確性・スピード強化。

Outputを通じて、  
Inputの穴を探す。  
足りない力を分析。

各種答練のほか、  
論文対策講義  
を活用

財務 計算  
・  
管理会計論  
アクセス  
前半

### 基礎答練 3回

★問題文の読み取り、  
問への素直な答え方  
を身に付ける

### 応用答練 2回

★応用的な問題での  
部分点の取り方、  
時間配分の練習等

- ★全科目、テキストを大事に。  
財理はWeb論点別講義を受け切ってもOK。  
特に、2～6章は受け直す。
- ★4月までのアクセス・答練は**範囲指定あり**。  
準備して受験し、足りない力を分析。

8月論文ネット出願  
2024年2/5-2/26×切

### ※5月短答を受験する場合

3月後半から短答直前答練開始。  
4月に入ったら、論述対策や、  
租税法・選択科目はストップ。知識暗記。

照準を合わせられるか？  
まずは凹みを均す。

4月末 論文公開模試 第1回

理論補強答練1・2

5/26(日)短答式試験

論文直前講義 各1回

財計・管理・租税計算アクセス後半 論文直前答練1・2

6月末 論文公開模試 第2回

論文直前答練 3(監査企業のみ4回目あり)

5月短答合格者に比べて  
アドバンテージを確保できるか？

全科目、  
満足水準までもっていけるか？

## 回転期

会计学計算・・・2週間以内に論点1周、  
その他は7日～2週間以内に論点1周、暗記は毎日など。

8/16-18 論文式試験

# 23→24教材の主な改訂一覧

## 2024年目標から追加

■財務計算テキスト「♪」マークの解説増加

■監査論 テキストの改訂 アンダーラインや図表、重要性追記、付録の廃止(全400→450ページ)

■監査論

短答問題集問題数増加・短答過去問集別冊化 論文問題集拡充

■財理 論文問題集 重要性付記など

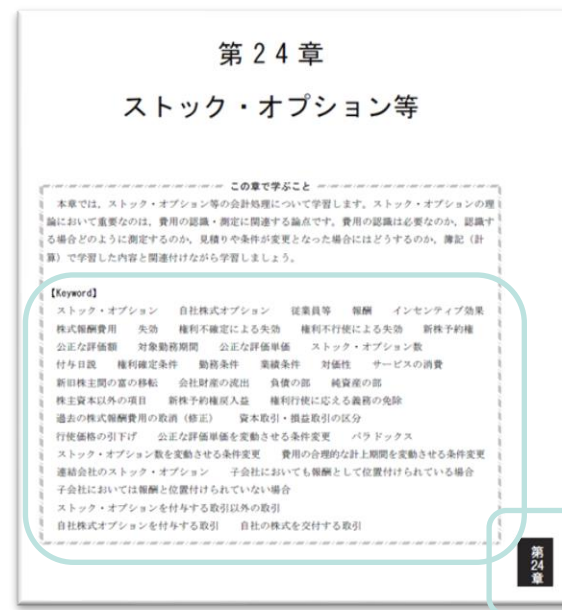
■各種問題集 短答・論文で別冊化

■右端にインデックス印刷

## 2023年目標から追加済

- ・企業法論点リスト/第一関門リスト
- ・財理 テキスト章扉 キーワード
- ・財理 論文確認問題集解答編
- ・監査論 学習上のポイント

\*書き込み可能なPDF教材配付  
(テキスト・問題集)  
※目次も整備)

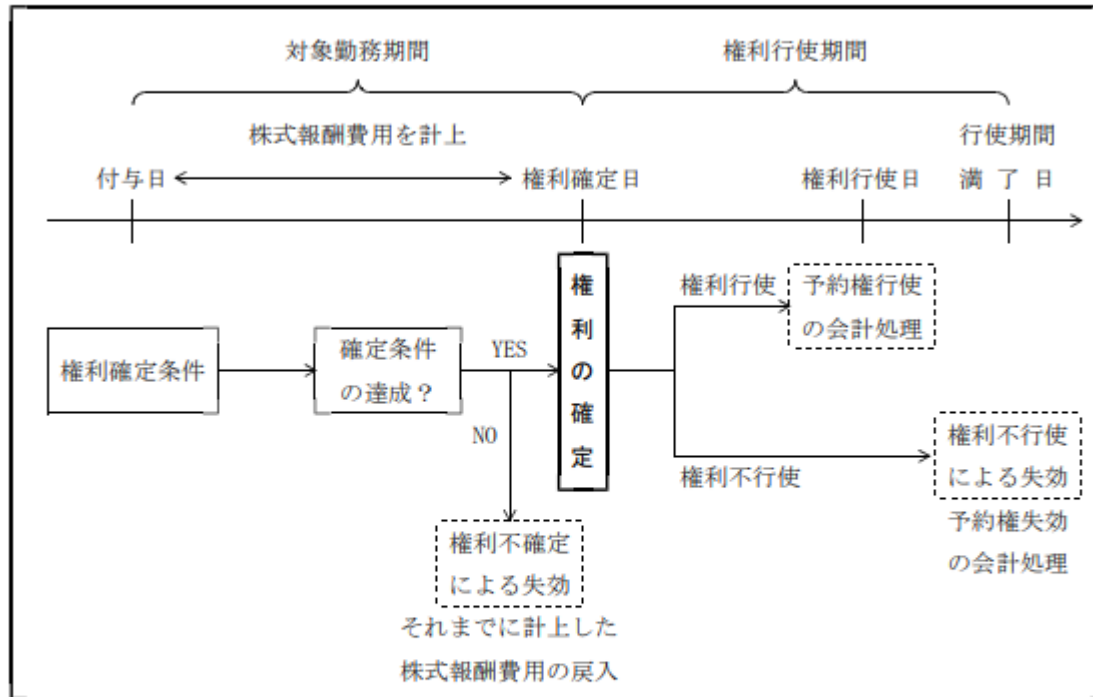


# 財務計算 テキストサンプル

全てのページに「♪」マークで解説を追加。

**TAC**

## 第11章 スtock・オプション



- ♪ 失効には2種類あるね!
- ♪ 権利確定日後の会計処理は第5章で学習した新株予約権と同じだよ!
- ♪ 第5章の新株予約権は新株予約権の付与に対してお金(払込金額)をもらっていたのに対し、今回は当該部分が労働の提供に変わった(仕訳の借方が現金預金から株式報酬費用に変わった)イメージだよ!

### 1. 過去勤務費用の金額を利息費用の計算に反映させる場合

#### (1) 過去勤務費用の発生

(借) 未認識過去勤務費用 1,218 (貸) 退職給付債務 1,218(\*1)

(\*1) 改訂後3,009-改訂前1,791=1,218

仕訳なし

♪ 改訂前と改訂後の差額が、未認識過去勤務費用になるよ!

#### (2) 期中仕訳

(借) 勤務費用 132 (貸) 退職給付債務 282  
 利息費用 150(\*2)  
 (借) 年金資産 40 (貸) 期待運用収益 40(\*3)  
 (借) 過去勤務費用の費用処理額 203(\*4) (貸) 未認識過去勤務費用 203

(\*2) 改訂後退職給付債務3,009×割引率5%=150.45 → 150(四捨五入)

(\*3) 1,000×長期期待運用収益率4%=40

(\*4) 1,218(\*1)÷6年=203

(借) 退職給付費用 445(\*5) (貸) 退職給付引当金 445

(\*5) 132+150(\*2)-40(\*3)+203(\*4)=445

♪ 改訂後の退職給付債務に基づいて、利息費用を計算するよ!

#### (3) ワークシート

|           | 実 際<br>当期首 | 過去勤務<br>費用 | 退職給付<br>費用         | 予 測<br>当期末 | 数理計算<br>上の差異 | 実 際<br>当期末 |
|-----------|------------|------------|--------------------|------------|--------------|------------|
| 退職給付債務    | (1,791)    | (1,218)    | S (132)<br>I (150) | (3,291)    | 0            | (3,291)    |
| 年金資産      | 1,000      |            | R 40               | 1,040      | 0            | 1,040      |
| 未積立退職給付債務 | (791)      |            |                    | (2,251)    |              | (2,251)    |
| 未認識過去勤務費用 |            | 1,218      | A (203)            | 1,015      |              | 1,015      |
| 退職給付引当金   | (791)      | 0          | (445)              | (1,236)    | 0            | (1,236)    |

(注) S: 勤務費用 I: 利息費用 R: 期待運用収益 A: 過去勤務費用の費用処理額

♪ 退職給付債務の(1,791)と(1,218)を合計すると、改訂後の(3,009)になっているよ!

♪ 1. と2. の実際当期末の退職給付債務の金額は同額(3,291)なので、次期以降の利息費用はどちらの方法でも同額になるよ(利息費用の計算の論点が出るのは、当期に過去勤務費用が生じた時だけだよ)!

# 財務計算 パワーアップ問題

全てのページに「♪」マークで解説を追加。

**TAC**

従来の60-70分問題を20分問題などに分割。  
取り組みやすくなった。基礎的な論点の総合  
問題のため、年末や論文アクセスが始まる頃  
までにテキストと併せて取り組むのも◎。

## 【個別論点編】

| 問題の難易度   | 標準問題      | 高難易度問題    |
|----------|-----------|-----------|
| 問題の解ける時期 | 基礎マスターⅠ対応 | 基礎マスターⅢ対応 |

## 【構造論点編】

| 問題の難易度   | 標準問題      | 高難易度問題    |
|----------|-----------|-----------|
| 問題の解ける時期 | 基礎マスターⅡ対応 | 基礎マスターⅣ対応 |

## 目次

### 1. 標準問題

|                         |     |
|-------------------------|-----|
| 【パワーアップ問題①（標準問題・BMⅡ対応）】 | 2   |
| 【パワーアップ問題②（標準問題・BMⅡ対応）】 | 16  |
| 【パワーアップ問題③（標準問題・BMⅡ対応）】 | 30  |
| 【パワーアップ問題④（標準問題・BMⅡ対応）】 | 42  |
| 【パワーアップ問題⑤（標準問題・BMⅡ対応）】 | 58  |
| 【パワーアップ問題⑥（標準問題・BMⅣ対応）】 | 70  |
| 【パワーアップ問題⑦（標準問題・BMⅣ対応）】 | 90  |
| 【パワーアップ問題⑧（標準問題・BMⅣ対応）】 | 100 |
| 【パワーアップ問題⑨（標準問題・BMⅣ対応）】 | 148 |

### 2. 高難易度問題

|                           |     |
|---------------------------|-----|
| 【パワーアップ問題⑩（高難易度問題・BMⅡ対応）】 | 162 |
| 【パワーアップ問題⑪（高難易度問題・BMⅡ対応）】 | 208 |
| 【パワーアップ問題⑫（高難易度問題・BMⅡ対応）】 | 236 |
| 【パワーアップ問題⑬（高難易度問題・BMⅣ対応）】 | 256 |
| 【パワーアップ問題⑭（高難易度問題・BMⅣ対応）】 | 278 |
| 【パワーアップ問題⑮（高難易度問題・BMⅣ対応）】 | 328 |
| 【パワーアップ問題⑯（高難易度問題・BMⅣ対応）】 | 344 |
| 【パワーアップ問題⑰（高難易度問題・BMⅣ対応）】 | 358 |

### パワーアップ問題①（標準問題・BMⅡ対応）

【目安解答時間：30分】

【資料Ⅰ】～【資料Ⅵ】に基づいて、次の①～⑨の金額を答えなさい。各社の会計期間は3月31日を決算日とする1年間である。なお、のれんは発生年度の翌年度から5年間にわたり定額法によって償却する。また、税金及び税効果会計は考慮しない。

## 23→24テキスト 主な改訂部分

### ■加筆部分

重要性 ★マークからABCへ

p. 90 転リース取引の記述追加

p.122 株式引受権のワード追加

p.123 S/S記載項目の範囲

p.344 ※9 資産除去債務 使用の都度発生する場合 なお書き追加

(計上時期と同一の期間に、資産計上額と同一の金額を費用処理することもできる旨)

### ■問題集 論点ごとの重要性を付記(あくまで学習の中心はテキスト)

07. ①金融投資目的で保有する資産と②事業投資目的で保有する資産について、時価の変動によって損益を認識するべきか否か、事前に期待される成果に対応する事実に着目して説明しなさい。【A】

<①の解答例>

|   |   |                                      |
|---|---|--------------------------------------|
| ① | 1 | 金融投資とは、売却することに事業遂行上の制約がなく、時価の変動によって  |
| ② | 2 | 利益を獲得することを目的とした投資である。そのため、金融投資の場合、事前 |
| ③ | 3 | に期待される成果に対応する事実は、時価の変動である。したがって、金融投資 |
|   | 4 | 目的で保有する資産については、時価の変動によって損益を認識すべきであると |
|   | 5 | いえる。                                 |

<答案構成>

- ① 金融投資の意義
- ② 事前に期待される成果に対応する事実
- ③ 結論

#### I. 会計基準を設定するアプローチ 【短B 論B】

会計基準を設定するアプローチには、**帰納的アプローチ**と**演繹的アプローチ**の2つがある。

|     | 帰納的アプローチ                                                    | 演繹的アプローチ                                                       |
|-----|-------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|
| 意義  | 実際に行われている会計処理方法を観察し、その中から一般的又は共通的なものを抽出することによって、会計基準を設定する方法 | 会計の前提となる仮定や会計の目的を最初に規定し、これらの仮定や目的と首尾一貫するように具体的な会計処理のルールを導出する方法 |
| 代表例 | 「企業会計原則」 <sup>(※1)</sup>                                    | 「概念フレームワーク」                                                    |

帰納的アプローチにより設定された会計基準は、広く普及した会計実務から構成されるため、遵守され最いが、一方で、会計実務に問題があっても問題を改善するような会計基準は形成されにくい。また、基準全体の整合性や首尾一貫性が確保される保証がない等の問題がある。このような帰納的アプローチの問題を解消し、会計基準を理論的に体系付けるために、演繹的アプローチが主張される。

22→23目標(全300ページから400ページに増加)  
テキストに図表・監基報番号・例示などが追加

23→24目標(全400ページから450ページに増加)

- 論文問題集 拡充
- 品質管理改訂 反映済み
- 重要性・下線付記
- 監査論岡田講師のレジюме等図表さらに追加
- 別冊子「付録」の配付廃止  
重要規定はテキストに一元化

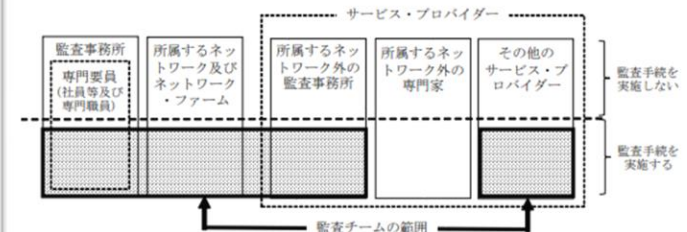
- 短答問題集 収録問題数増加  
(全224ページ→全237ページ)

【補 論】 監査チームの範囲 [監基報220:12(4), A17～A21] 【短B 論C】

監査チームは、個々の監査業務を実施する全ての社員等（パートナ）及び専門職員（スタッフ）<sup>(4)</sup>、並びに当該業務において監査手続を実施する他の全ての者から構成される。

監査チームには、ネットワーク・ファームに所属する者のほか、ネットワーク・ファームではない監査事務所又は他のサービス・プロバイダー（外部の業務提供者）に所属する者（例えば、構成単位の監査人や遠隔地の実地報酬の立会に従事する者）も含まれる場合がある<sup>(4)</sup>。

ただし、監査人の利用する外部の専門家、専門的な見解の問合せ<sup>(4)</sup>のみを行う専門知識を有する者、審査担当者及び審査を実施する他の者は、監査チームのメンバーではない。



以下、関連用語の定義をまとめておく。[監基報220:12]

- ・社員等：監査事務所において、専門業務の業務執行権を有する全ての個人
- ・専門職員：専門業務に従事する社員等以外の者
- ・専門要員：監査事務所に所属する社員等及び専門職員全体
- ・ネットワーク：監査事務所よりも大きな組織体であって、所属する事業体の相互の協力を目的としており、かつ以下のいずれかを備えている組織体  
ア、利益の分配又は費用の分担を目的にしていること。  
イ、共通の組織により所有、支配及び経営されていること。  
ウ、品質管理の方針又は手続を共有していること。  
エ、事業戦略を共有していること。  
オ、ブランド名を共有していること。  
カ、業務運営に関する資源の重要な部分を共有していること。
- ・ネットワーク・ファーム：ネットワークに所属する監査事務所又は事業体
- ・サービス・プロバイダー：品質管理システム又は監査業務の実施において利用される資源を提供する監査事務所の外部の個人又は組織

## 目次

### 〔論点知識確認問題〕

|              |     |
|--------------|-----|
| 第1章 財務諸表監査総論 | 4   |
| 第2章 監査の実施    | 26  |
| 第3章 監査報告     | 117 |
| 第4章 個別論点     | 138 |
| 第5章 保証業務     | 185 |
| 第6章 監査制度     | 210 |

### 〔論文式過年度試験問題演習〕

|         |     |
|---------|-----|
| 令和4年試験  | 222 |
| 令和3年試験  | 232 |
| 令和2年試験  | 241 |
| 令和元年試験  | 249 |
| 平成30年試験 | 258 |

1- 1- 2. 公認会計士監査、内部監査及び監査役監査の目的を踏まえ、コーポレート・ガバナンスの充実・強化の観点から、これらの監査がどのような関係にあることが望まれるか、説明しなさい。

(解 答) B

公認会計士監査は、企業外部の利害関係者を保護するために、財務諸表の適正性を対象として行われる。また、内部監査は、経営者を保護するために、従業員の業務遂行の状況を対象として行われる。さらに、監査役監査は、株主及び債権者を保護するために、取締役の職務遂行の状況を対象として行われる。

このように、これらの監査は、その目的を異にしているが、いずれも会社業務を検査対象とする点で共通している。そのため、コーポレート・ガバナンスの充実・強化の観点からは、公認会計士監査は監査及び会計の職業的専門家であるという優位性、内部監査は会社業務に精通しているという内部監査の優位性、監査役監査は経営者の職務執行をモニタリングする立場にあるという優位性を相互に利用し合い、連携を図る関係にあることが望まれる。

**Point** ～三様監査 (p. 10・11)～

|       | 公認会計士監査       | 内部監査        | 監査役監査               |
|-------|---------------|-------------|---------------------|
| 保護対象  | 企業外部の利害関係者    | 経営者         | 株主及び債権者             |
| 監査対象  | 財務諸表の適正性      | 従業員の業務遂行の状況 | 取締役の職務遂行の状況         |
| 優 位 性 | 監査及び会計の職業的専門家 | 会社業務に精通     | 経営者の職務執行をモニタリングする立場 |

※) 会社業務を検査対象とする点で共通

→各々の優位性を相互に利用・連携

→コーポレート・ガバナンスの充実・強化

**コメント**

監査論では主に公認会計士監査を題材とするが、時に内部監査や監査役監査との関係が問われることもある。本問ではそれらを総括して三者間の連携に焦点を当てているが、上記表にある各監査の特徴については一通り覚えておくことを勧める。

目次ではなく解答例横に重要性を付記

【解答例】

問題 1 A

1. 公開会社（2条5号。取締役会の設置が義務づけられる。327条1項1号）では、会日の2週間前までに、書面または電磁的方法により、招集通知を株主に発しなければならない。招集通知には株主総会の日時・場所、議題等を記載しなければならない（299条1項2号3項4項）。また、定時株主総会の招集通知に際しては、計算書類等を株主に提供しなければならない（437条）。これは、公開会社では、株主が多数かつ変動し、株主間の関係が希薄であるのが通常だから、株主に株主総会への出席の機会と準備の余裕をあたえるためである。

想起学習のため、12月短答後頃-下記教材配付

論点リスト（解釈論点）

第一関門リスト  
（重要規定と趣旨の想起）

|      |                                   |                            |
|------|-----------------------------------|----------------------------|
| ①P51 | 相互保有株式（1株1議決権の原則の例外）              | 308条1項本文<br>かつこ書           |
| ①P52 | 単元未満株式（1株1議決権の原則の例外）              | 189条1項                     |
| ①P52 | 基準日後に取得した株式（1株1議決権の原則の例外）         | 124条1項                     |
| ①P53 | 会社が自己の株式を買い受ける場合の売主（1株1議決権の原則の例外） | 140条3項<br>160条4項<br>175条2項 |
| ①P53 | 取締役等選任権付種類株式（1株1議決権の原則の例外）        | 108条1項9号                   |

|      |                                   |                            |
|------|-----------------------------------|----------------------------|
| ①P51 | 相互保有株式（1株1議決権の原則の例外）              | 308条1項本文<br>かつこ書           |
| ①P52 | 単元未満株式（1株1議決権の原則の例外）              | 189条1項                     |
| ①P52 | 基準日後に取得した株式（1株1議決権の原則の例外）         | 124条1項                     |
| ①P53 | 会社が自己の株式を買い受ける場合の売主（1株1議決権の原則の例外） | 140条3項<br>160条4項<br>175条2項 |
| ①P53 | 取締役等選任権付種類株式（1株1議決権の原則の例外）        | 108条1項9号                   |

## は し が き

『サクセス財務会計論【計算】』においては、各論点の網羅性及び短答式試験・論文式試験の出題実績を重視して執筆・編集しています。そのため、基本的な内容のみではなく、本試験において実績のある一部応用的な内容も網羅することを心掛けました。本問題集を繰り返し解くことによって、出題パターンに応じた解法を身に付けることが可能です。なお、各章の構成は「短答・論文式試験の出題実績と学習方針」、「論点編」及び「問題編」となっています。「短答・論文式試験の出題実績と学習方針」を確認の上、基本的な内容を確認する際は「論点編」を活用いただき、演習を行う際は「問題編」を確認するようにして下さい。また、「問題編」の各問題には、下書例を用いた解説講義を標準装備しています。ご自身の力で行き詰った際や、より効率的な解法を確認する際にご活用下さい。本試験で最大限の実力が発揮できるよう、日々の演習用教材として利用いただけることを切に願っています。

個別論点編（Ⅰ～Ⅲ）・構造論点編（Ⅰ～Ⅲ）・短答論点編の計7冊は、短答式試験対策として有効ですが、個別論点編（Ⅰ～Ⅲ）及び構造論点編（Ⅰ～Ⅲ）の計6冊は、論文式試験対策としても有効です。

## 本 書 の 特 徴

本書の主な特徴は、次の5点です。

- (1) 各章の「短答・論文式試験の出題実績と学習方針」では、新試験制度（2006年）以降の出題実績をまとめて記載しています。出題実績に合わせて、短答式試験及び論文式試験で重視すべきポイントも記載しています。
- (2) 各章の「論点編」では、各論点のポイントをまとめています。
- (3) 各章の「問題編」では、各論点の問題を複数掲載しています。解答解説のみではなく、各問題の重要性、難易度、目標解答時間及び出題意図を記載していますので、メリハリをつけた試験対策が可能となります<sup>4</sup>。
- (4) 各問題には下書例を用いた解説講義を標準装備しています。
- (5) 各論点を分冊にし、この7冊により、財務会計論（計算）の基本的な問題及び基本的な過去問が網羅できるように執筆・編集しています。

## 本 書 の 対 象 者

本書は、内部教材の講義・トレーニングや答練を十分に消化できていることを前提に、更なる解法力アップを意図した教材です。そのため、例えば、下記に該当するような場合、内部教材の講義・トレーニングや答練を優先して取り組んで下さい。

- (1) 内部教材の講義で未受講の内容が存在する。
- (2) 内部教材のトレーニングや答練を全て演習することが出来ていない。
- (3) 内部教材のトレーニングや答練を演習することは出来ているが、演習量が不十分と感じている。

## その他有価証券評価差額金のある株式交換・合併

### 1. 被取得企業が計上しているその他有価証券評価差額金の取扱い（取得の場合）

取得の会計処理を行う際には、企業結合時に被取得企業がその他有価証券評価差額金を計上しているとしても、取得企業は被取得企業のその他有価証券評価差額金を引き継がない。

### 2. 子会社との株式交換・合併（共通支配下の取引等）

#### (1) 親会社の子会社を株式交換により完全子会社とする場合

子会社の評価・換算差額等に関して特に規定がないため、通常の連結上の処理を行う。

#### (2) 親会社の子会社を吸収合併する場合

親会社は子会社の合併期日の前日の評価・換算差額等（親会社で作成する連結財務諸表において投資と資本の消去の対象とされたものを除く）及び新株予約権の適正な帳簿価額を引継ぐ。したがって、子会社のその他有価証券評価差額金の適正な帳簿価額のうち、支配獲得後に当該子会社が計上したものをそのまま引継ぐ。

#### (3) まとめ

##### ① 株式交換（追加取得）の処理

|                   | 親会社持分        | 追加取得分   |
|-------------------|--------------|---------|
| 支配獲得時その他有価証券評価差額金 | 投資と相殺消去      |         |
| 支配獲得後その他有価証券評価差額金 | その他有価証券評価差額金 | 投資と相殺消去 |

##### ② 合併の処理

|                   | 親会社持分        | 合併（追加取得）分    |
|-------------------|--------------|--------------|
| 支配獲得時その他有価証券評価差額金 | 投資と相殺消去      | 投資と相殺消去      |
| 支配獲得後その他有価証券評価差額金 | その他有価証券評価差額金 | その他有価証券評価差額金 |

## IV. 問題編

### 【各問題の重要性・難易度】

| 問題番号   | タイトル  | 重要性 |    | 難易度 | ページ |
|--------|-------|-----|----|-----|-----|
|        |       | 短答  | 論文 |     |     |
| 問題 1-1 | 企業結合① | B   | B  | A   | 38  |
| 問題 1-2 | 企業結合② | B   | B  | A   | 42  |
| 問題 1-3 | 企業結合③ | B   | B  | A   | 50  |
| 問題 1-4 | 企業結合④ | B   | B  | B   | 65  |

### 【各問題の出題論点】

|                        | 1 | 2 | 3 | 4 |
|------------------------|---|---|---|---|
| 企業結合                   |   |   |   |   |
| 合併                     | ○ | ○ |   | ○ |
| 企業結合の会計処理①             | ○ | ○ |   |   |
| 事業譲受                   |   |   |   |   |
| 株式取得による企業買収            |   |   |   |   |
| 株式交換                   |   |   |   | ○ |
| 株式移転                   |   |   | ○ |   |
| 企業結合の会計処理②             |   | ○ |   |   |
| 逆取得                    |   |   | ○ |   |
| 共通支配下の取引等の会計処理         |   |   | ○ | ○ |
| その他有価証券評価差額金がある場合の企業結合 | ○ | ○ |   |   |

### 問題 1-2 企業結合②

下記の〔資料〕に基づき、P社の合併に関する「問1」～「問3」に答えなさい。いずれの合併も取得とされ、取得企業はP社である。なお、各社とも決算日は3月31日である。

#### 〔資料Ⅰ〕 各社の合併直前の貸借対照表（単位：千円）

|        | A社      | B社     | C社      |              | A社      | B社     | C社      |
|--------|---------|--------|---------|--------------|---------|--------|---------|
| 諸資産    | 236,400 | 86,000 | 140,000 | 諸負債          | 162,100 | 12,800 | 90,000  |
| 土地     | 12,000  | 12,000 | 70,000  | 退職給付引当金      | —       | 1,000  | —       |
| 投資有価証券 | 1,600   | —      | —       | 資本剰余金        | 63,000  | 67,000 | 100,000 |
|        |         |        |         | 資本剰余金        | —       | 5,100  | —       |
|        |         |        |         | 利益剰余金        | 24,500  | 12,100 | 20,000  |
|        |         |        |         | その他有価証券評価差額金 | 400     | —      | —       |
| 合 計    | 250,000 | 98,000 | 210,000 | 合 計          | 250,000 | 98,000 | 210,000 |

〔注〕企業結合日の土地の時価はA社25,000千円、B社21,000千円、C社115,000千円であった。

〔注〕B社の退職給付引当金には未認識数理計算上の差異（損失）100千円が存在している。

〔注〕P社個別貸借対照表に計上されている利益剰余金は100,000千円である。

#### 〔資料Ⅱ〕 その他の情報

|                | P社        | A社    | B社    | C社    |
|----------------|-----------|-------|-------|-------|
| 発行済株式総数        | 100,000千株 | 300千株 | 120千株 | 500千株 |
| P社との合併における合併比率 | —         | 0.8   | 1.5   | 0.72  |
| 合併期日における株価     | 500円      | 400円  | 800円  | 300円  |

### 【重要性、難易度および目標解答時間】

| 問題番号   | 重要性 |    | 難易度 | 目標解答時間 |
|--------|-----|----|-----|--------|
|        | 短答  | 論文 |     |        |
| 問題 1-2 | B   | B  | A   | 7分     |

## は し が き

『サクセス管理会計論』においては、各論点の網羅性及び短答式試験・論文式試験の出題実績を重視して執筆・編集しています。そのため、基本的な内容のみではなく、本試験において実績のある一部応用的な内容も網羅することを心掛けました。本問題集を繰り返し解くことによって、出題パターンに応じた解法を身に付けることが可能です。なお、各章の構成は「短答・論文式試験の出題実績と学習方針」，「論点編」及び「問題編」となっています。「短答・論文式試験の出題実績と学習方針」を確認の上、基本的な内容を確認する際は「論点編」を活用いただき、演習を行う際は「問題編」を確認するようにして下さい。また、「問題編」の各問題には、下書例を用いた解説講義を標準装備しています。ご自身の力で行き詰った際や、より効率的な解法を確認する際にご活用下さい。本試験で最大限の実力が発揮できるよう、日々の演習用教材として利用いただけることを切に願っています。

## 本書の特徴

本書の主な特徴は、次の5点です。

- (1) 各章の「短答・論文式試験の出題実績と学習方針」では、新試験制度（2006年）以降の出題実績をまとめて記載しています。出題実績に合わせて、短答式試験及び論文式試験で重視すべきポイントも記載しています。
- (2) 各章の「論点編」では、各論点のポイントをまとめています。
- (3) 各章の「問題編」では、各論点の問題を複数掲載しています。解答解説のみではなく、各問題の重要性、難易度、目標解答時間および出題意図も記載していますので、メリハリをつけた試験対策が可能となります。
- (4) 各問題には下書例を用いた解説講義を用意しています。
- (5) 各論点によって6分冊にし、この6冊により、管理会計論の主要な問題及び過去問が網羅できるように執筆・編集しています。

## 本書の対象者

本書は、内部教材の講義・トレーニングや答練を十分に消化できていることを前提に、更なる解法力アップを意図した教材です。そのため、例えば、下記に該当するような場合、内部教材の講義・トレーニングや答練を優先して取り組んで下さい。

- (1) 内部教材の講義で未受講の内容が存在する。
- (2) 内部教材のトレーニングや答練を全て演習することが出来ていない。
- (3) 内部教材のトレーニングや答練を演習することは出来ているが、演習量が不十分と感じている。

# サクセス 管理サンプル

## II. 論文式試験の出題実績と学習方針

### 【論文式試験の出題実績（新試験制度以降）】

|            | 06 | 07 | 08 | 09 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |
|------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| CVP分析の方法   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| CVP分析の公式   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 営業外損益がある場合 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 感度分析       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 安全余裕率      |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 損益分岐点比率    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 経営レバレッジ係数  |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |

### CVP分析の応用

|                      |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|----------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 複数種類の製品<br>(売上高比率一定) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 複数種類の製品<br>(販売量比率一定) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 複数種類の製品<br>(その他)     |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 全期原価計算のもとでのCVP分析     |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

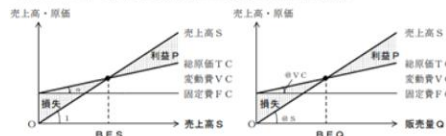
## III. 論点編

### CVP図表とPV図表

#### 1. CVP図表

##### (1) 第1のCVP図表

売上高と総原価（固定費の上に変動費を記入する）の動きを重ねると、営業量に応じて動きがわかる。なお、 $\alpha$ は変動費率（=変動費÷売上高）を用いる。



### CVP分析の方法

#### 1. CVP分析の公式

##### (1) 基本公式

$$\text{① 営業量が売上高Sの場合} \quad S - \alpha \times S - FC = P$$

$$\text{② 営業量が販売量Qの場合} \quad \alpha \times Q - \alpha \times VC \times Q - FC = P$$

分析目的に応じて、基本公式の「P」に代入するものを覚えていく。

##### (2) 損益分岐点の算定

① 損益分岐点売上高 ② 損益分岐点販売量

## 【論文式試験の学習方針】

論文式試験においては、2012年以降出題がなかったCVP分析であるが、近年、2021年、2022年と連続で出題されている。出題実績を鑑みると、CVP分析の公式や安全余裕率、経営レバレッジ係数の対策はしておきたい。

## IV. 問題編

### 【各問題の重要性・難易度】

| 問題番号  | タイトル   | 重要性 |    | 難易度 | ページ |
|-------|--------|-----|----|-----|-----|
|       |        | 短答  | 論文 |     |     |
| 問題3-1 | CVP分析① | A   | A  | A   | 65  |
| 問題3-2 | CVP分析② | A   | A  | B   | 71  |
| 問題3-3 | CVP分析③ | B   | B  | A   | 75  |
| 問題3-4 | CVP分析④ | B   | B  | A   | 79  |
| 問題3-5 | CVP分析⑤ | C   | C  | C   | 83  |
| 問題3-6 | CVP分析⑥ | A   | B  | B   | 87  |
| 問題3-7 | CVP分析⑦ | C   | C  | B   | 91  |

### 各問題の出題論点

|            | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
|------------|---|---|---|---|---|---|---|
| CVP分析の方法   |   |   |   |   |   |   |   |
| CVP分析の公式   |   |   |   |   |   |   |   |
| 営業外損益がある場合 |   |   |   |   |   |   |   |

### 問題3-6

### CVP分析⑥

当社は、製品Aを製造・販売している。以下の〔資料〕に基づき、目標売上高営業利益率15%を達成するためには少なくとも何個以上製品Aを販売する必要があるかを答えなさい。

### 〔資料〕

#### 1. 製品Aの販売価格・原価データ

|            |             |
|------------|-------------|
| 販売価格       | 1,000円      |
| 1個当たり直接材料費 | 250円        |
| 1個当たり変動加工費 | 110円        |
| 1個当たり変動販売費 | 40円         |
| 固定費合計      | 31,000,000円 |

#### 2. 販売員のモチベーション促進のために、インセンティブとして次のような報酬を追加支給することとした。

|                       |          |
|-----------------------|----------|
| 65,000個～74,999個販売した場合 | 売上総額の5%  |
| 75,000個以上販売した場合       | 売上総額の10% |

#### 3. 製造・販売量が70,000個以上になると工員の増員が必要となるため、固定費500,000円の追加が必要となる。

#### 4. 製造・販売量が75,000個以上になると、材料の大量購入により購入額の4%の割戻を購入量すべてについて受けることが可能となる。

#### 5. 損益・損益の左端は左端

### 【重要性、難易度および目標解答時間】

| 問題番号  | 重要性 |    | 難易度 | 目標解答時間 |
|-------|-----|----|-----|--------|
|       | 短答  | 論文 |     |        |
| 問題3-6 | A   | B  | B   | 6分     |

# (参考：講師のプロフィール)

【講師】平林 梨(れい)

国際基督教大学 国際教養学部 国際関係学科(1浪・1年次留年)

2010年 DVD通信受講 2010年目標速習(簿記2級は2009年独学で取得済み)  
講義が終わらず目標年度終了 12月試し受験

2011年 5月短答は受験せず  
夏に体を壊し、一旦完全に撤退(既卒2年次)

2014年(独学で保育士取得・インターンのみ)

2014年 新宿校通学2016年目標2年コースで学習再開(通学1時間強)  
社会人経験なし 既卒専念生

2015年 6月簿記1級合格 12月短答合格

2016年 8月論文合格(30歳職歴なし)9月-財務会計論 理論講師

2020年 個別成績学習方法相談・オンラインセミナー開始

2022年 札幌・仙台・名古屋・関西・広島・福岡など出張開始

※Twitter(X)のDMでもご相談を承ります。

[https://twitter.com/hirabayashi\\_tac](https://twitter.com/hirabayashi_tac)



Q&Aボタンから、

質問したい内容をご入力ください。

※「匿名で送信」を選択

質問内容を読み上げ中、  
希望される場合には

「挙手」していただければ音声を繋ぎます。